

MVCI ISO22900-2 D-PDU API

標準規格の診断APIに対応

Flexible vehicle interface

MVCI (Modular Vehicle Communication Interface)は、車載ハードウェアインターフェイスの標準APIとしてISO22900-2として規格化されています。これにより、車載通信と診断のためのシステムで、ユーザは標準的なハードウェアとソフトウェアを使用することができます。つまり、ベンダーAのハードウェアがMVCIに対応していることで、同じくこの規格に対応しているベンダーBのツールと組み合わせることができます。

このような各コンポーネントの互換性は、これまでのソリューションとは比較にならないフレキシビリティをユーザに提供します。

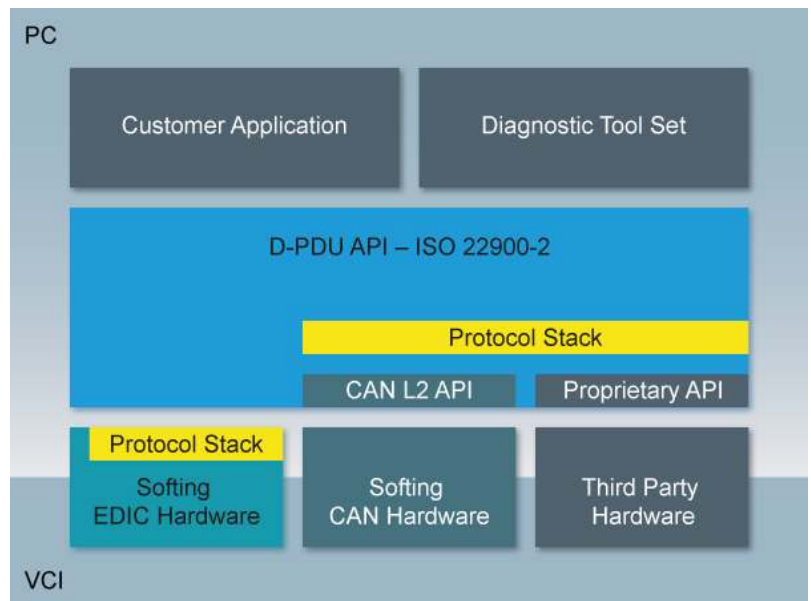
また、コストの削減にもつながります。

Area of implementation and applications

D-PDU APIインターフェイス対応のハードウェアとソフトウェアのコンポーネントは、CANのようなバスシステムを介して車載ネットワーク(通信)アプリケーションで使われます。特に診断やフラッシュプログラミングのようなアプリケーションでは、ハードウェア接続とECU通信において、D-PDU APIは非常に意味あるソリューションといえます。

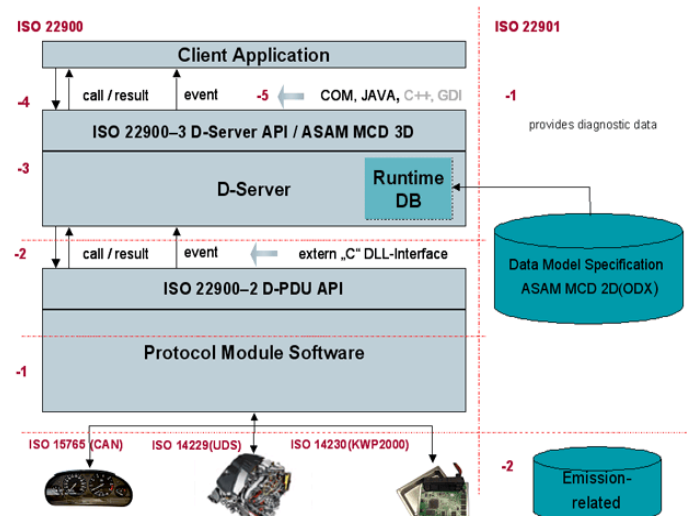
アプリケーションが直接D-PDU APIにアクセスすることも、診断サーバ(ISO22900-3に沿って)を介することもできます。Softing社では、両方のソリューションに合った製品をご用意しております。

D-PDU APIインターフェイスは、ECUとのデータ交換のためのパワフルなメカニズムを提供することから、通信プロトコルは、完全にD-PDU APIソフトウェア内でハンドリングされます。ユーザアプリケーションは、複雑なプロトコル仕様やメカニズムをケアする必要はありません(e.g. FlowControl, segmentation)。



Overview

- Vehicle interfaceとDTSに対応したD-PDU API software
- オープン、標準化されたAPI : ISO22900-2
- ISO 9141(K-line/L-line)のボーレートの設定可能
- ODXと整合した、標準的な通信プロトコルとパラメータ
- 複数のリンク上でパラレルに通信可能
- イベント・ドリブンのアプリケーションインターフェイス
- パワフルな通信メカニズム
- 標準化されたシステムのインテグレーション



ガイロジック株式会社 〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町2-5-11
 松栄ビル5階 Tel 0422-26-8211 Fax 0422-26-8212
<http://www.gailogic.co.jp>